

BUSINESS REPORT

第19期 中間株主通信

2015年4月1日 ▶ 2015年9月30日



株式会社バイ・テクノロジー
(証券コード:7717)

トップメッセージ

株主の皆様におかれましては、日頃より格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。

当社グループは、フラットパネルディスプレイ (FPD) 市場の黎明期である1997年に創業いたしました。以来FPD製造プロセスに関わる検査装置・製造装置の開発に注力し、独自の技術と経営でこれまで様々なソリューションを創造し、お客様価値の向上に貢献してまいりました。今日では、より幅広い分野でお客様の活動を支えるべく自社開発及びM&Aなどによる外部技術の導入により、総合的なソリューションの強化を推進しております。

当期における事業環境について、グローバルにおいては、中国をはじめとする新興国において成長の鈍化が見られたものの、米国経済は緩やかな拡大基調、欧州経済は緩やかな景気の回復が見られました。また、わが国経済は、輸出の勢いの鈍化は見られたものの、設備投資の緩やかな増加基調が見られる等、総じて緩やかな回復基調が見られました。

当社グループの主要な市場であるFPDの製造装置の市場では、従前から設備投資の中心である中国に加え、日本、台湾等における追加更新投資も行われております。投資対象も、スマートフォン及びタブレット端末の中小型液晶パネル向けの設備投資に加えて、テレビ向けの大型液晶パネル向けの設備投資も行われました。このような環境の中、当社グループは中国、日本、台湾、韓国といった



代表取締役社長
杉本 重人

国内外のパネルメーカーに拡販活動を行ってまいりました。

受注金額は、主に中国及び日本向けの検査関連装置、中国向けの露光装置並びに関連消耗部品及びメンテナンス等の受注により、310億9千9百万円(前年同期126億3千8百万円)となりました。なお、受注残高は312億9千万円(前年同期150億6千5百万円)となりました。

当第2四半期連結累計期間の当社グループの連結業績につきましては、第1四半期連結会計期間において、株式会社VNシステムズ及び同社子会社2社を連結子会社化したこと等に伴い、売上高は125億9千6百万円(前年同期売上高41億3千9百万円)、営業利益は6億7百万円(前年同期営業損失6億1千9百万円)、経常利益は5億3千9百万円(前年同期経常損失5億6千4百万円)、親会社株主に帰属する四半期純利益3億2千2百万円(前年同期親会社株主に帰属する四半期純損失3億2千1百万円)となりました。

配当につきましては当社の基本方針は、将来の事業拡大や経営基盤強化の為に必要な内部留保の充実を図りつつ、配当の安定性・継続性を考慮の上、経営成績に応じた利益還元を行うこととしております。具体的には配当性向10%以上を目標とし、今後の事業環境(収益、投資、研究開発支出など)を勘案し配当を決定しており、中間配当を25.00円(期末配当予想:25.00円)といたしました。

今後、当社グループは株主の皆様のご期待に沿えますよう、中長期的な企業価値の向上と継続的な成長を目指した経営を進め、お客様価値の向上を通じて業績の持続的な成長を図るとともに、大いなる志と溢れる情熱で、世界最高のイノベーションを創造し社会に貢献していく所存です。株主の皆様におかれましては、今後とも一層のご理解とご支援を賜りますよう宜しくお願い申し上げます。

2015年12月

大手液晶パネルメーカーより大口受注のお知らせ

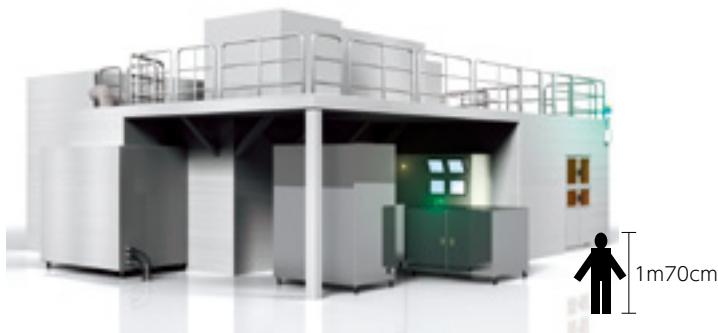
2015年6月1日より当社グループとなりました株式会社VNシステムズは、海外大手液晶パネルメーカーよりカラーフィルター*用露光装置を51億円で受注いたしました。テレビの高精細化や大画面化を受けて、パネルメーカー各社では既存ラインの能力向上や、工場新設を目的とした設備投資が活発化しています。このたびの受注は、このような背景とVNシステムズの露光装置が高く評価され大口受注にいたったものです。

本露光装置(図1)は、写真技術を応用して様々なサイズのガラス基板にサブミクロンレベルの精度でRGBのパターンを焼き付ける装置です。非常に薄く大きなガラス基板に精密パターンを24時間休みなく露光する装置の製造と開発には、高い技術力と長年にわたるノウハウの蓄積が不可欠です。VNシステムズの前身であるNSKテクノロジー株式会社は日本精工株式会社の精密位置決め技術を基礎として発足した露光装置メーカーとして、1980年代よりディスプレイや精密部品向け露光装置を数多くリリース、高い技術力で露光装置を実現するとともに量産装置に関する無数のノウハウを蓄積してきました。

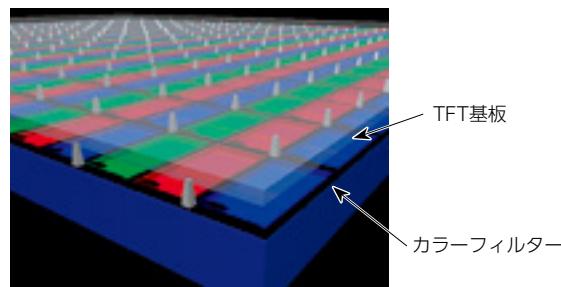
当社グループは、今後も皆様のご期待に沿えますよう、ディスプレイパネルの進化を支えるソリューションの提供に全力を尽くすとともに、大いなる志と溢れる情熱で、世界最高のイノベーションを創造し社会に貢献していく所存です。

引き続き一層のご理解とご支援を賜りますよう宜しくお願い申し上げます。

* カラーフィルターについて: テレビやスマートフォンで使用される液晶パネルに必ず使用されている部材です。画面をフルカラーで表示する為に必要な部品で1mm未満の薄いガラスで出来ています。ディスプレイパネルの光源から発生した光にR(赤)、G(緑)、B(青)色に着色する数ミクロンの点が格子状に数百万個以上精密に配置されている部品です。ガラスのサイズは数十センチ角~大きいときは3m角を越すこともあります(図2)。



(図1) 露光装置イメージ



(図2) 液晶パネルの構造とカラーフィルター

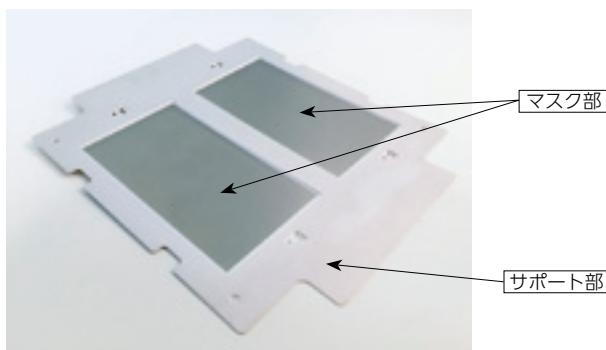
738ppi対応超高精細蒸着マスク「FHM(Fine Hybrid Mask)」を ファインテックジャパンへ参考出展

当社は、高精細化・大型化が進むスマートフォン用有機ELディスプレイのさらなる進化に貢献する、超高精細(738ppi、6インチ、3840×2160画素)蒸着マスク「FHM(Fine Hybrid Mask)」を開発、世界のディスプレイ関係者が集結する国内唯一の展示会「ファインテックジャパン2015」に出展いたしましたので、ご報告いたします。

<概要>

有機ELディスプレイ(以下、「OLED」)とは、電圧をかけると自発光する高分子の有機物を用いて作られたディスプレイです。光の三原色(赤、青、緑)を用いてフルカラー表示を実現している点では液晶ディスプレイと同様ですが、黒と白を表示させた時のコントラスト値が非常に高い点にあります。また、未来のディスプレイとして期待されるフレキシブルの大画面ディスプレイ実現に最も有力な技術といわれています。

当社が提案するFHMは、OLEDの製造に最適なマスクです。強度等の面で優れた金属材料と薄膜化や加工性の面で優れた樹脂材料を用いたハイブリッド構造となっています。金属部分(サポート部)がマスクを支える梁のような役割を果たし、微細な窓が開けられた薄い樹脂部分(開口部)は、蒸着時にパターンを形成する役割を果たします。開口部は、レーザー加工により形成され、蒸着性が向上しています。また、サポート部分をフレームに溶着する際、開口部の位置制御に荷重を必要としない「ノンテンション構造」を採用しています。これにより位置精度が高い蒸着マスクを実現しています。今後、細部についての開発をさらに進め、量産ラインへの展開を目指します。

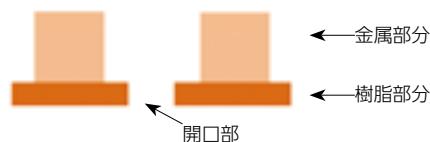


外観イメージ



マスク部拡大イメージ (平面図)

(■部が金属製のサポート部 ■部が樹脂製の部分 白抜きが開口部)



マスク部拡大イメージ (断面図)

昆山微铁克光电设备有限公司の開所式を行いました。

当社グループは、10月23日に「昆山微铁克光电设备有限公司(英文:Kunshan V Technology Co., Ltd.)」開所式を江蘇省昆山市にて開催いたしました。昆山市並びに主要パネルメーカーの皆様から数多くのご参加をいただき、盛況のうちに式を終了できましたことを此処にご報告いたします。当日は、関係の皆様から温かいご支援の声と、様々なご意見を多数頂戴できましたことを、改めて御礼申し上げます。



開所式テープカット



当社代表 杉本挨拶

当社グループは、中国地域におけるFPD産業黎明期の2007年より上海に営業・サービス拠点を設立し本格的に営業活動を展開しております。昨今の中国においては、TVやスマホ用パネル増産に関連した各種装置の需要が拡大しており、また現地における人件費高騰等を背景に装置に関する様々なリクエストや御相談を数多く頂戴しております。この度、当社グループは、このようなお客様の声に、製造の現地化、物流コスト削減そして自動化ソリューション提供などで迅速にお応えする技術の拠点として、2014年12月に同社を昆山経済技術開発区に設立、本年10月23日より正式に営業を開始しました。

当社グループは、今後も皆様のご期待に沿えますよう、お客様の発展に貢献するソリューションの提供に邁進するとともに、大いなる志と溢れる情熱で、世界最高のイノベーションを創造し社会に貢献していく所存です。引き続き一層のご理解とご支援を賜りますようお願い申し上げます。

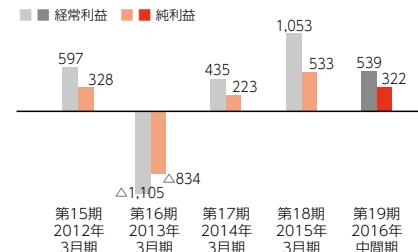
売上高 (百万円)



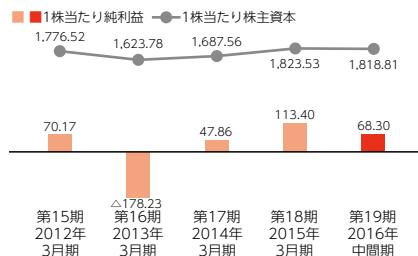
総資本回転率 (回)



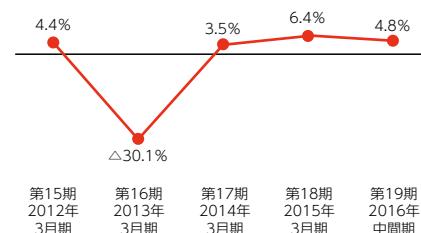
経常利益/純利益 (百万円)



1株当たり純利益/1株当たり株主資本 (円)



経常利益率 (%)



ROE (%)



(注) 1株当たりの情報については過去に遡って株式分割等に伴う調整計算を行っております。

● 2016年3月期(第19期)の業績見通し

	売上高 (百万円)	営業利益 (百万円)	経常利益 (百万円)	当期純利益 (百万円)	1株当たり当期純利益
前回見通し	26,000	2,000	1,850	950	円 銭 201.56
今回見通し	30,000	2,200	2,030	1,040	220.00
(ご参考) 前期実績	16,456	862	1,053	533	113.40

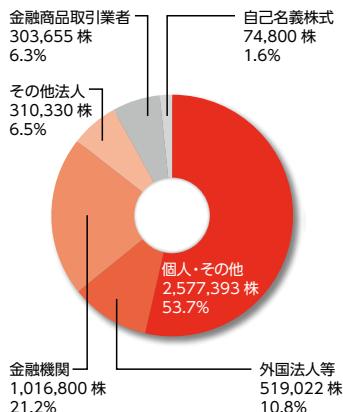
FPD設備市場は、引き続き前期と同一水準で推移するものと見込まれており、スマートフォンなどの中小型高精細液晶パネルの設備投資、テレビ向けの大型高精細液晶パネルの設備投資並びに有機ELの設備投資が見込まれております。このような事業環境の改善に鑑み、業績見通しを修正いたしました。

※業績見通しについては、現時点で入手可能な情報から得られた判断に基づいております。予想にはさまざまな不確定要素が内在されており、実際の業績は種々の要素により業績予想とは異なる場合があることをご承知おください。

株式の状況 (2015年9月30日現在)

Stock Information

- 発行可能株式総数 17,590,300株
- 発行済株式総数 4,802,000株
- 株主数 5,295名
- 株式所有者別分布



大株主 (上位10名)

株主名	持株数	持株比率
杉本重人	554,300 株	11.3%
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社 (信託口)	416,000 株	8.7%
新菱冷熱工業株式会社	233,300 株	4.9%
日本マスタートラスト信託銀行株式会社 (信託口)	192,000 株	4.0%
MSIP CLIENT SECURITIES	183,233 株	3.8%
日本証券金融株式会社	81,500 株	1.7%
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社 (信託口1)	61,300 株	1.3%
資産管理サービス信託銀行株式会社 (証券投資信託口)	59,800 株	1.3%
BNY GCM CLIENT ACCOUNT JPRD AC ISG (FE-AC)	59,000 株	1.2%
BNYML-NON TREATY ACCOUNT	54,500 株	1.1%

当社は自己株式74,800株を保有しておりますが、上記から除いております。

株主メモ

- 事業年度 4月1日～翌年3月31日
- 定時株主総会 毎年6月に開催
- 配当金受領株主確定日
 - ・期末配当金 3月31日
 - ・中間配当金 9月30日
- 株主名簿管理人 三菱UFJ信託銀行株式会社
- 特別口座の口座管理機関
 - ・同連絡先 三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部
〒137-8081 東京都江東区東砂7丁目10番11号
TEL：0120-232-711 (通話料無料)
 - ・同取次所 三菱UFJ信託銀行株式会社 全国各支店
- 上場証券取引所 東京証券取引所 (証券コード 7717)
- 公告の方法 電子公告とします。但しやむを得ない事由により電子公告をすることができない場合は日本経済新聞に掲載します。公告掲載の当社ホームページアドレス <http://www.vtec.co.jp>

(ご注意)

- 1.株券電子化に伴い、株主様の住所変更その他各種お手続きにつきましては、原則、口座を開設されている口座管理機関（証券会社等）で承ることとなっております。口座を開設されている証券会社等にお問合わせください。株主名簿管理人（三菱UFJ信託銀行）ではお取り扱いできませんのでご注意ください。
- 2.特別口座に記録された株式に関する各種お手続きにつきましては、三菱UFJ信託銀行が口座管理機関となっておりますので、上記特別口座の口座管理機関（三菱UFJ信託銀行）にお問合わせください。なお、三菱UFJ信託銀行全国各支店にててもお取次ぎいたします。
- 3.未受領の配当金につきましては、三菱UFJ信託銀行本支店でお支払いいたします。

会社の概要 (2015年9月30日現在) Company Profile



社 名：株式会社バイ・テクノロジー
設 立：1997年10月16日
本 社 所 在 地：横浜市保土ヶ谷区神戸町134 YBPイーストタワー9F
TEL：045-338-1980 FAX：045-338-1781

役員

代表取締役社長	杉本重人
専務取締役	梶山康一
常務取締役	米澤良
取締役	勝原隆
取締役	城戸淳二

常勤監査役	和田正
監査役	大倉修和
監査役	吾田啓一郎
監査役	住田勲勇

1. 取締役城戸淳二は社外取締役であります。
2. 監査役大倉修和及び吾田啓一郎は、社外監査役であります。

拠点一覧



UD FONT

